



立志の丘

第51号

R5.3.14

西目中学校

文責：高野



3年生44名が西目中学校から旅立ちました！

3月11日(土)、心地よい春風が吹いて青く澄み切った西目の空は、西目中学校第76期卒業生の旅立ちをお祝いしているようでした。

当日は保護者の皆様と市教育委員会学校教育課長 相***様、市議会議員佐****様、松**様、学校運営協議会会長 福**様、PTA会長 荒***様の5人のご来賓をお招きして、令和4年度西目中学校卒業証書授与式を挙行了いたしました。会場は厳粛で清新な空気が漂い、3年生一人一人が凜とした姿勢で誇らしげに証書をもらう姿は、3年間の達成感と次の目標に向けて希望を胸に頑張ろうとするたくましさを感じました。



荒*PTA会長様からは、祝辞として卒業生に温かいメッセージをいただきました。そして、在校生を代表して柳**さんが3年生へ「送辞」を送り、卒業生を代表して朝***さんが「答辞」を述べました。二人がステージから発した思いや願い、夢や希望も力強く堂々としていました。

最後の「卒業の歌」は、在校生が伊***さん(1A)の伴奏で「大切なもの」の合唱、3年生は甲****さん(2B)の伴奏で「旅立ちの日に」を合唱し、卒業生と在校生が向かい合ってお互いに感謝の気持ちを伝え合い、体育館中に美しいハーモニーが響き渡りました。

式終了後は学級ごとに最後の学活で別れを惜しみ、その後、在校生の花道を通して旅立ちました。

西目中学校第76期生の、これからの益々のご活躍をお祈りします。卒業おめでとうございます。



「夢を力に」 3年生44名の未来に幸あれ！



3年生の保護者の皆さん、ありがとうございました！

これまでの本校へのご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業式「答辞」卒業生代表 朝***さん



頬を伝わる風も和らぎ、春の訪れが少しずつ感じられるようになりました。今日のこの良き日に、私たちのためにこのように晴れやかな卒業式を挙げていただき、心より感謝申し上げます。

私たちがこの中学校に入学してから、早くも三年が経ちました。「卒業」という言葉に未だ実感がわかず、時の経つ早さに驚きを感じます。

新しい環境への期待と不安を胸に入学した一年生。しかし、新型コロナウイルスの影響で入学式の前後は休校措置がとられ、本格的な中学校生活が始まったのは五月になってからでした。学校行事のほとんどが延期・中止になる中、今できることに全力で取り組む先輩方の姿を見て、私たちもこうなりたいと憧れの念を抱いたことを覚えています。

二年生では職場体験や少年式が行われまし

た。職場体験では働くことの意義を学び、少年式では自分の理想を描き、将来に向かっての誓いを立てました。それ以外でも学校行事や部活動の大会などで活動の機会が増え、先輩としての役割と自分自身に向き合い、責任の大きさ、重さを実感した一年でした。

そして、中学校生活最後の一年。コロナ禍の影響がなくなることはありませんでしたが、様々な行事をできる範囲で工夫し、楽しみ、とても充実した一年だったと思います。

私たちが生徒会の中心として行った最後の行事である西中祭では、「千紫万紅～自分色に染めろ！」をテーマに、全校生徒一人ひとりが自分の個性を発揮し、西中祭成功に向けて活動しました。また、これまでの伝統だった壁画制作に代わりモザイクアートの制作を行いました。慣れない作業の中一人一人の力を結集し、完成したモザイクアートを見た時の感動と達成感、他では味わえないものがありました。私たち四十四名は、これらの輝かしい思い出とともに、卒業の日を迎えることができました。(次ページへつづく)

しかしこれらの思い出も、在校生の皆さんの力があつたからこそのものであります。在校生のみなさん。今まで私たち三年生を支えてくださりありがとうございました。これまでたくさんの行事を成功させることができましたが、振り返ると、それも皆さんの力が必要不可欠だと思えます。これからは皆さんが中学校を引っ張っていく立場にあります。大きな責任に不安やプレッシャーを感じている人もいるでしょう。しかし、私たちにとっての皆さんがそうであったように、皆さんにも支えてくれる人たちがいます。周りに目を向け、信頼し、時には力を借りながらこれからのこの学校を創っていきましょう。応援しています。

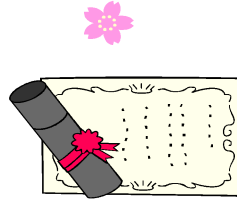
三年間私たちの学校生活を様々な面で支えてくださった先生方。勉強だけでなくこれから社会に出ていくうえで大切なことをたくさん教えていただきました。また、いつも私たちの話に親身になって耳を傾けてくださり、ありがとうございました。先生方から教えていただいたことを忘れず、社会に出ても活躍していける人になります。

そして、家族の皆さん。今日まで24時間365日私たちを一番近くで見守り、私たちの力になってくれました。今までありがとうございました。これからもよろしく願います。

最後に、9年間、またはそれ以上の年月を共に過ごしてきた仲間たち。いつも話し声と笑い声が絶えないような、賑やかで明るい学年だったと思います。励まし合い、笑い合い、時には悔しさを共有したことも喧嘩したこともありました。その一つ一つが大切な思い出です。ともに過ごしたかけがえのない時間を一生忘れません。今は別々の道を進みますが、いつかまたみんなで笑いあえる日が来ることを楽しみにしています。今までありがとう。言葉では表しきれない感謝でいっぱいです。

最高の先輩や後輩に最高の44人、先生方、家族、地域の皆さんに恵まれて私たちは素晴らしい中学校生活を送ることができました。全ての出会いに感謝し、これまで学んだことを糧に、それぞれの夢に向かって歩いて

いきます。その途中で困難なことがあつても、ここで過ごした三年間の日々を思い出してエネルギーに変え、自分の力で歩み続けることをここに誓い、答辞といたします。



令和5年3月11日

卒業生代表 朝****

卒業式「送辞」在業生代表 柳****さん



冬の寒さも和らぎ、白鳥が北へと帰って行く姿が見られるようになってきました。

今日の佳き日に、卒業を迎える西目中学校第76期生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

先輩方と過ごした2年間はあっという間に時が流れていきました。

コロナ禍の2年目にあって、これからの学校生活はどうなるのか、見えない不透明な未来に、私たち在校生は不安を感じながら入学しました。それでも皆さんは、様々な活動が制限・中止される異例な事態の中で、私たちを温かく迎えてくださり、導いてくださいました。おかげで私たちは心配することなくその後の学校生活を送ることができました。

さて、先輩方との思い出はたくさんありますが、私が特に記憶に新しいのは、「体育祭」と「西中祭」、「合唱コンクール」です。

さわやかな風の中で開催された体育祭。「一蓮托生」のスローガンのもと、友情の大切さと、団結することの尊さを実感しました。運営にあたっては、それぞれの委員会が仕事を行いました。全校が一つになって大きな目標を実現していくことの大切さを教えていただきました。正々堂々と戦い、応援し、喜びを分かち合う先輩方の生き生きとした姿は、とてもまぶしく、その姿にあこがれて、いつしか私たちも、先輩たちのように、強く団結 (次ページへつづく)

したいと思いました。

9月の西中祭は、「千紫万紅」のテーマのもと、生徒全員の絆をより一層深める大イベントとなりました。

最も私の心に残っているのはダンスです。音楽に乗りながら体全体で表現し、迫力がありませんでした。総合的な学習の発表ではSDGsの取り組みをただ発表するだけでなく、聞く人に提案していました。フードライブなどには自分も興味をもち、来年の取り組みのヒントとなりました。皆さんの取り組みのお陰で何人もの方達が笑顔になったことでしょう。

合唱コンクールでの三年生による合唱は、どちらのクラスも迫力があ

り、柔らかさと強さを兼ね備えたハーモニーに誰もが圧倒されました。「あなたへ」を歌ったA組。「手紙」を歌ったB組。どちらも思春期の自分自身の心の葛藤と成長していく喜びを歌い上げる歌詞でした。毎日の生活において、悩みを抱える中学生の私達は先輩方の歌に共感し、心を動かされ、会場全体がとても温かい気持ちに包まれたように感じました。

最高学年としての想像力・企画力・行動力を発揮し、様々な行事を盛り上げてくださった三年生。来年度、私たちは先輩方をお手本にして、行事を成功させられるように一生懸命頑張っていきたいと思

います。部活動でのつながりも、とても大きなものでした。先輩方のプレーを見て、いつかは追いつき追いつきたいと私たちは練習に励んできました。先輩方から教わったことは、私たちの大きな財産です。先輩方がいなくなった後のグラウンドでの練習。何かぼっかりと穴が開いてしまったような大きな寂しさを感じました。何も分からない私達を笑顔で導いてくれた先輩たち。皆さんの支えや励ましがあ

ったからこそ、がんばることができました。いつかは追い越せるように頑張っていきますので、これからもどうか私達を見守って

てください。

お別れの時間は刻一刻と迫ってきます。これから先輩方は、自分の選んだそれぞれの夢に向かって、一人一人違った道へと進んで行かれます。その道のりは決して楽なものではなく、時にはたくさんの苦難や壁に突き当たることもあるでしょう。そんな時は、この学校で過ごした3年間のことを思い出してください。この中学校で学び得たことを生かして、様々な壁や困難を乗り越えていき、いつまでも、私たち在校生の目標として輝き続けてください。

皆さんは決してひとりではありません。たくさんの人たちが応援し、支えてくれています。自分の夢や目標に向かって努力をし続ける皆さんの未来の姿が目に浮かびます。私たち在校生も3年生が教えてくださったことを胸に、西目中学校の伝統を受け継ぎ、「希望・友情・鍛練」の立志三訓を大切に守っていきます。

最後に、卒業生44名の皆さんの益々のご活躍とご多幸をお祈りして、送辞といたします。



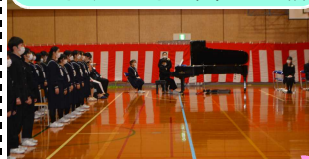
令和5年3月11日

在校生代表 柳****

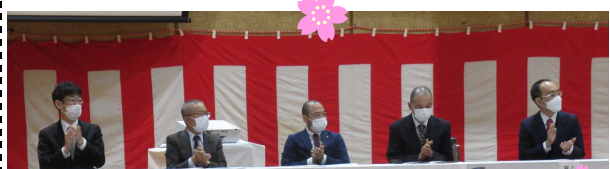


みんなで祝いした卒業式

さん、さんの見事なピアノ伴奏



在校生も立派な態度、合唱、ピアノ伴奏で、お祝いしました！



お祝いして下さったご来賓の皆様



在校生合唱「大切なもの」